

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月に開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
お問合せ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324 (フリーダイヤル)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 (トラストオフィスを除く) みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
公告方法	当社ホームページ (http://www.tn-sanso.co.jp) に掲載します。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所
証券コード	4091
単元株式数	1,000株

中間報告書

自平成21年4月1日 至平成21年9月30日

第 6 期

大陽日酸株式会社



〒142-8558 東京都品川区小山1-3-26
TEL (03) 5788-8000 (大代表)
<http://www.tn-sanso.co.jp>

企業理念

進取と共創。ガスで未来を拓く。

行動指針

私たちは、

進取 あなたの声を敏感にとらえ、

共創 ガステクノロジーを通じて、あらゆる産業と共に、

未来 豊かな社会の実現に貢献します。

スローガン

The Gas Professionals

産業ガスのプロ集団になる、そして業界でNo.1のプロ、
第一人者であることを目指します。

目次

● 企業理念	1
● 株主の皆様へ	2
● 製品別の動向（連結）	3
● 連結業績の推移	4
● 連結貸借対照表【要旨】	5
● 連結損益計算書【要旨】	6
● 連結キャッシュ・フロー計算書【要旨】	6
● TOPICS	7
● 株式の状況	8
● 株価および売買高の推移	8
● 会社概要	9
● 役員	9

シンボルマーク



大陽日酸
The Gas Professionals

最先端の技術と自然の融合、そして酸素、窒素、アルゴンなど高度なガスコントロール技術で創り上げる「大陽日酸」の企業ドメインを象徴するこのシンボルは、高品質でクリーンな透明感のある、明るい未来への拡がり表現しています。

● 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当社の事業運営に格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成22年3月期における第2四半期を終了いたしましたので、ここに概況をご報告いたします。

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）におけるわが国経済は、わが国を含む主要各国の経済対策実施に伴う個人消費の増加や中国等への輸出などにより主要産業の稼働率に需要回復の動きが見え始めるなど、景気の底打ち感が出てきました。しかしながら、依然として生産設備や雇用の過剰感は強く、景気動向は先行き不透明な状況が続くと見られております。

当社グループの主要関連業界では、鉄鋼、非鉄金属、自動車、半導体産業などによる生産・在庫調整も一巡し、中国をはじめとするアジア向けを中心に液晶パネル、鋼材などの輸出が増加に転じるなど、需要回復に向けて明るい兆しが出てまいりましたものの本格的な回復には至りませんでした。

このような状況の下、当社はグループ一丸となって一層のコスト削減に注力し収益の改善に取り組んでまいりましたものの、全般的な市場低迷の影響を受け、当第2四半期累計期間における業績は、売上高2,041億57百万円（前年同期比20.2%の減少）、営業利益127億61百万円（同29.7%の減少）、経常利益123億58百万円（同32.5%の減少）、四半期純利益68億28百万円（同31.3%の減少）となり、前年同四半期比で減収減益となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、1株につき6円といたしたく存じます。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

<連結決算ハイライト>

売上高	前年同期比 20.2%減少 204,157 百万円
営業利益	前年同期比 29.7%減少 12,761 百万円
経常利益	前年同期比 32.5%減少 12,358 百万円
四半期純利益	前年同期比 31.3%減少 6,828 百万円

※第2四半期連結累計期間



代表取締役会長

田口 博

代表取締役社長

松枝 寛祐

製品別の動向（連結）

■ガス事業

ガス事業については、中国をはじめとするアジア向けを中心に液晶パネルや鋼材の需要回復に加え、国内の化学、鉄鋼、自動車産業などでも需要が上向きに転じるなど、明るい兆しが見えつつありますが需要低迷からの脱出には至らず、主力の酸素、窒素、アルゴン、特殊ガスの売上数量は前年同期を下回りました。海外事業についても、米国におけるガス需要の回復の遅れに加え円高の影響もあり、売上高は前年同四半期を下回りました。

以上の結果、ガス事業の売上高は1,426億3百万円（前年同四半期比18.5%の減少）、営業利益は96億8百万円（同31.5%の減少）となりました。

■機器・装置事業

機器・装置事業については、主要関連業界の設備投資の減少・延期などの影響により全般的に需要は減退いたしました。そのため、電子機材関連機器・工事、空気分離装置売上高は前年同四半期比で減少致しました。

以上の結果、機器・装置事業の売上高は513億95百万円（前年同四半期比27.1%の減少）、営業利益は29億99百万円（同40.4%の減少）となりました。

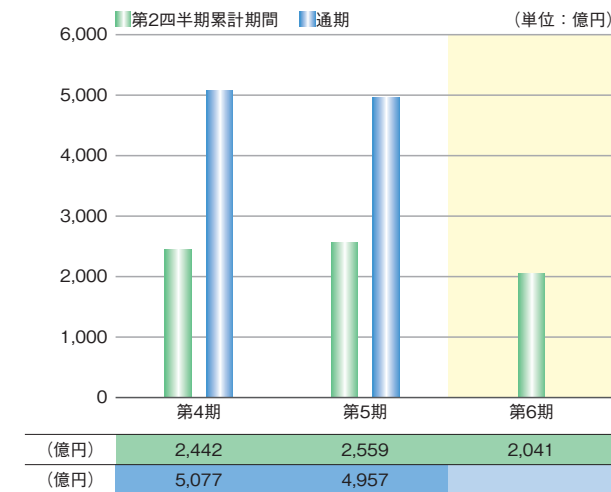
■家庭用品他事業

家庭用品他事業については、人気商品である「ケータイマグ」などの出荷が順調に推移した一方で、その他事業での全般的な需要の落ち込みがあり、売上高は前年同四半期をわずかながら下回りました。

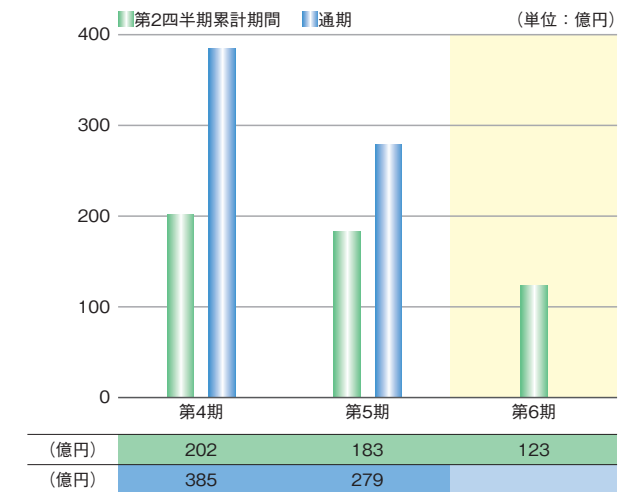
以上の結果、家庭用品他事業の売上高は101億59百万円（前年同四半期比2.7%の減少）、営業利益は21億82百万円（同30.7%の増加）となりました。

連結業績の推移

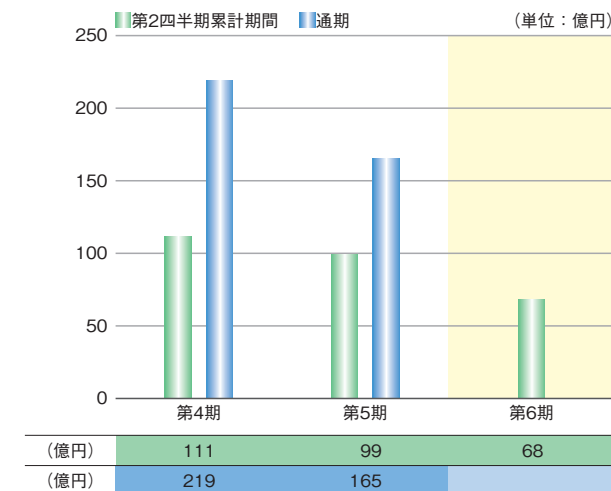
■売上高



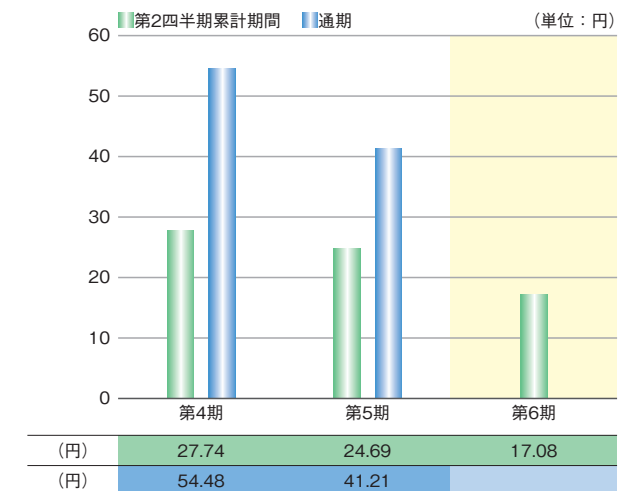
■経常利益



■四半期(当期)純利益



■1株当たり四半期(当期)純利益



■連結貸借対照表【要旨】

「当第2四半期連結会計期間末（平成21年9月30日現在）」

		(単位：百万円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	200,077	流動負債	174,790
現金及び預金	25,393	支払手形及び買掛金	63,331
受取手形及び売掛金	116,228	短期借入金	76,117
商品及び製品	17,634	コマーシャル・ペーパー	5,000
仕掛品	18,048	未払法人税等	4,854
原材料及び貯蔵品	7,812	引当金	2,822
繰延税金資産	5,664	その他	22,665
その他	11,293	固定負債	231,459
貸倒引当金	△1,998	社債	40,000
固定資産	412,686	長期借入金	135,891
有形固定資産	259,633	繰延税金負債	33,223
建物及び構築物（純額）	53,114	退職給付引当金	3,947
機械装置及び運搬具（純額）	112,963	執行役員退職慰労引当金	349
土地	39,021	役員退職慰労引当金	815
リース資産（純額）	4,731	負ののれん	1,507
建設仮勘定	23,752	リース債務	9,062
その他（純額）	26,049	その他	6,661
無形固定資産	77,809	負債合計	406,250
のれん	49,592	純 資 産 の 部	
その他	28,217	株主資本	205,604
投資その他の資産	75,242	資本金	27,039
投資有価証券	55,451	資本剰余金	44,910
長期貸付金	415	利益剰余金	135,906
前払年金費用	11,820	自己株式	△2,252
繰延税金資産	2,532	評価・換算差額等	△12,416
その他	7,499	その他有価証券評価差額金	7,874
投資等評価引当金	△1,149	繰延ヘッジ損益	△106
貸倒引当金	△1,326	為替換算調整勘定	△20,011
資産合計	612,763	その他包括損失累計額	△172
		少数株主持分	13,325
		純資産合計	206,513
		負債純資産合計	612,763

■連結損益計算書【要旨】

「当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）」

		(単位：百万円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
売上高	204,157		
売上原価	133,797		
売上総利益	70,360		
販売費及び一般管理費	57,598		
営業利益	12,761		
営業外収益	2,545		
営業外費用	2,949		
経常利益	12,358		
特別利益	458		
特別損失	105		
税金等調整前四半期純利益	12,711		
法人税、住民税及び事業税	5,243		
法人税等調整額	128		
法人税等合計	5,372		
少数株主利益	510		
四半期純利益	6,828		

■連結キャッシュ・フロー計算書【要旨】

「当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）」

		(単位：百万円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,749		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80,621		
財務活動によるキャッシュ・フロー	64,554		
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,442		
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,875		
現金及び現金同等物の期首残高	28,776		
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	108		
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	82		
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,091		

TOPICS

①モノシラン共同生産事業を開始

当社は、シラン系ガスのエキスパートであるドイツのエボニックインダストリーズのグループ会社、エボニック デグサ ジャパン株式会社と共同でモノシランの生産事業を開始します。モノシランガスは、太陽電池、フラットパネル、半導体用途に向けて需要拡大が続いており、今回の共同生産事業は、モノシランガスの安定供給を図り、日本はもとよりアジア市場への拡販を推進するものです。

②西海総合ガスセンター 新充填工場竣工

当社は、株式会社大興、福岡酸素株式会社および株式会社武田商事との共同出資により本年4月に株式会社西海総合ガスセンターを設立し、5月に新充填工場が竣工しました。新充填工場は、長崎・佐世保地区の核となる総合充填工場で、作業の効率化と品質向上を目指して、省力化技術・品質管理システムを導入しました。



③新型高性能窒素ガス発生装置の販売開始

この窒素ガス発生装置は、吸着剤により空気から酸素だけを選択的に吸着分離して窒素ガスを発生させる装置ですが、当社はこのほど、製造方法を工夫することで従来よりも吸着性能を大幅に向上させた吸着剤を開発するとともに、この吸着剤を使った新型高性能窒素ガス発生装置の販売を開始しました。この装置は、吸着剤の高性能化により、電力消費量の大幅な削減も可能であり、温暖化対策にも期待されます。



④中国・上海で医療用ガス販売会社設立

当社は、上海申威医用気体有限公司との共同出資により、中国上海での医療用ガス販売の合弁会社、大陽日酸申威（上海）医用気体有限公司を設立しました。また、上海申威グループのガス充填会社である上海申威気体罐装有限公司への資本参加を行い、大陽日酸グループのガス製造会社である上海大陽日酸気体有限公司とも連携し、ガス製造から充填、販売、サービス提供にいたる一貫した在宅医療用ガス事業を展開していきます。



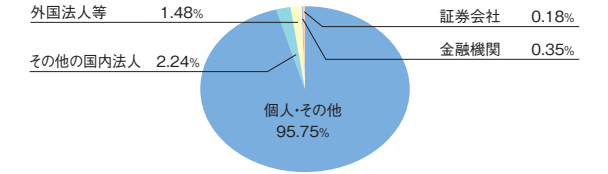
株式の状況 (平成21年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 1,600,000,000株
- 発行済株式の総数 403,092,837株
- 株主数 23,701名
- 大株主

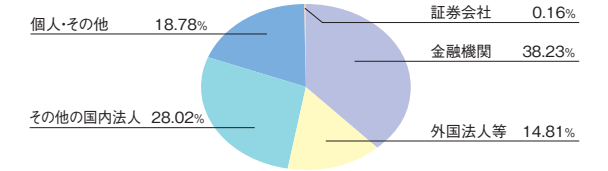
株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
	千株	%
三菱化学株式会社	59,281	14.71
JFEスチール株式会社	25,254	6.27
大陽日酸取引先持株会	17,625	4.37
明治安田生命保険相互会社	16,491	4.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	16,436	4.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,381	3.82
株式会社みずほコーポレート銀行	14,484	3.59
第一生命保険相互会社	10,037	2.49
農林中央金庫	10,000	2.48
全国共済農業協同組合連合会	6,830	1.69

(注)1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 出資比率は、小数点第3位を四捨五入しております。

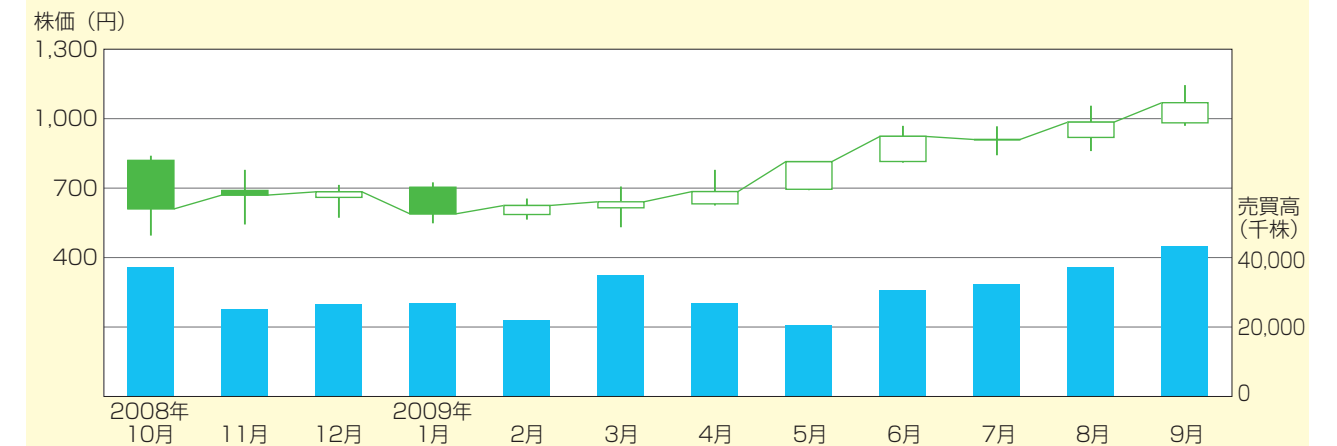
●所有者別分布状況(株主数別) (小数点第3位を四捨五入)



●所有者別分布状況(株式数別) (小数点第3位を四捨五入)



株価および売買高の推移



● 会社概要 (平成21年9月30日現在)

- 商号 大陽日酸株式会社
(英文名称: TAIYO NIPPON SANSO CORPORATION)
- 創業日 明治43年10月30日
- 設立日 大正7年7月20日
- 資本金 270億3,987万7,254円
- 従業員数 連結: 9,824名、単体: 1,456名
- 本社 〒142-8558 東京都品川区小山一丁目3番26号
TEL03-5788-8000
- 支社 東北支社、北関東支社、関東支社、中部支社、
関西支社、中四国支社、九州支社
- 事業所 京浜事業所、川崎事業所、つくば事業所、
山梨事業所、川崎水江事業所、小山事業所
- 関係会社 連結子会社: 74社、持分法適用会社: 30社、
非連結・持分法非適用会社: 189社

● 役員 (平成21年9月30日現在)

代表取締役会長	田 口 博
代表取締役社長	松 枝 寛 祐
代表取締役副社長	川 口 恭 史
取締役相談役	於 勢 好之輔
専務取締役	海老澤 憲一郎
専務取締役	原 文 雄
専務取締役	郷 東 洋 夫
専務取締役	山 下 仁
専務取締役	粕 谷 顯 一
常務取締役	佐 藤 敏 男
常務取締役	伊 藤 彬
常務取締役	田 邊 信 司
常務取締役	間 邦 司
常務取締役	丸 山 忠 重
※1 取締役 (非常勤)	富 澤 龍 一
取締役 (非常勤)	ウィリアム・クロール
常勤監査役	馬 谷 成 人
常勤監査役	藤 田 清
※2 常勤監査役	清 田 啓 一
※2 常勤監査役	小 山 滋

(注) ※1は社外取締役であります。
※2は社外監査役であります。